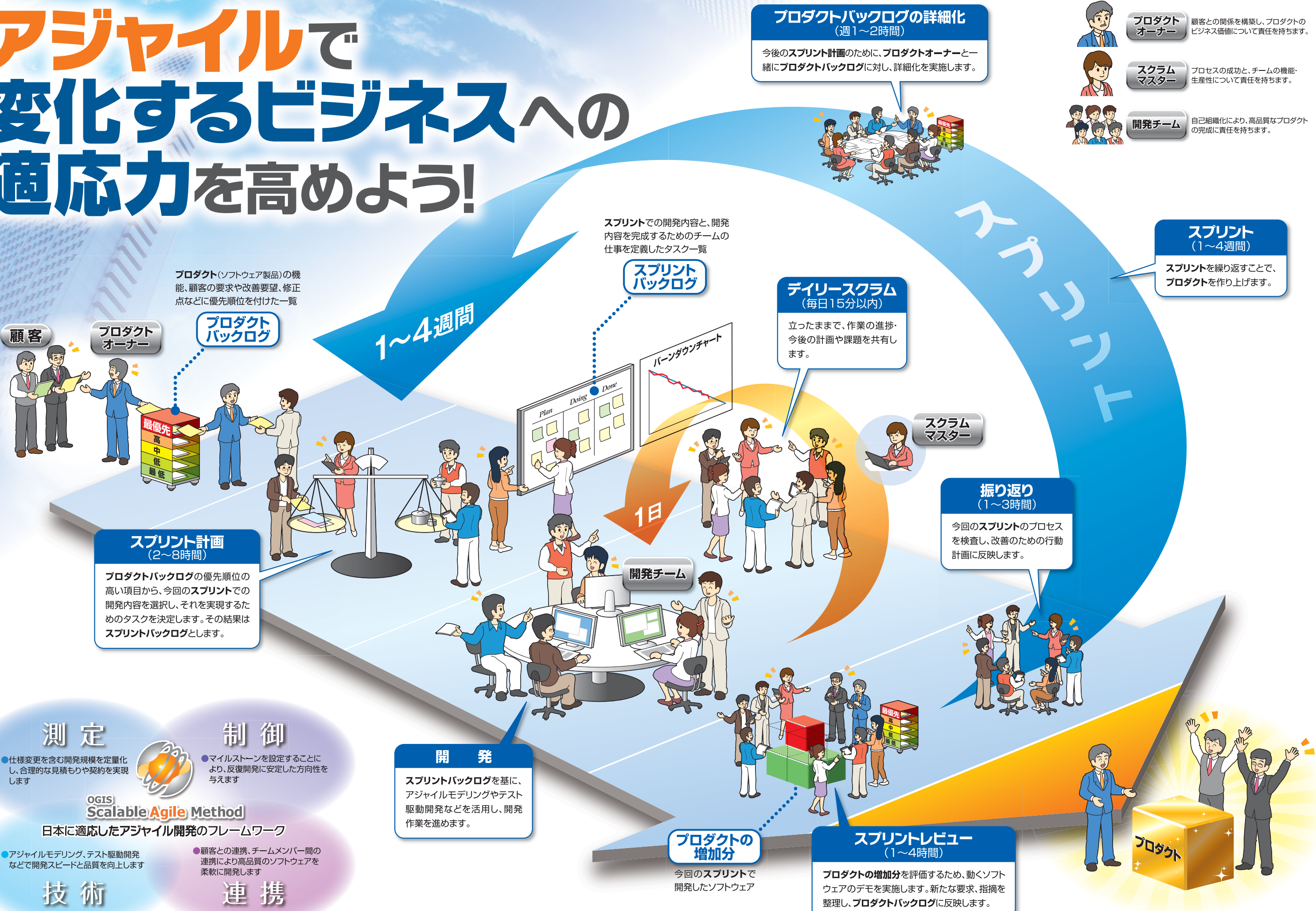


アジャイルで 変化するビジネスへの 適応力を高めよう!



プロダクトバックログの詳細化
(週1~2時間)

今後のスプリント計画のために、**プロダクトオーナー**と一緒に**プロダクトバックログ**に対し、詳細化を実施します。

- プロダクトオーナー** 顧客との関係を構築し、プロダクトのビジネス価値について責任を持ちます。
- スクラムマスター** プロセスの成功と、チームの機能・生産性について責任を持ちます。
- 開発チーム** 自己組織化により、高品質なプロダクトの完成に責任を持ちます。

スプリント
(1~4週間)

スプリントを繰り返すことで、**プロダクト**を作り上げます。

デイリースクラム
(毎日15分以内)

立ったままで、作業の進捗・今後の計画や課題を共有します。

振り返り
(1~3時間)

今回の**スプリント**のプロセスを検査し、改善のための行動計画に反映します。

スプリント計画
(2~8時間)

プロダクトバックログの優先順位の高い項目から、今回の**スプリント**での開発内容を選択し、それを実現するためのタスクを決定します。その結果は**スプリントバックログ**とします。

スプリントバックログ

スプリントでの開発内容と、開発内容を完成するためのチームの仕事定義したタスク一覧

顧客 **プロダクトオーナー** **プロダクトバックログ**

プロダクト(ソフトウェア製品)の機能、顧客の要求や改善要望、修正点などに優先順位を付けた一覧

開発

スプリントバックログを基に、アジャイルモデリングやテスト駆動開発などを活用し、開発作業を進めます。

プロダクトの増加分

今回の**スプリント**で開発したソフトウェア

スプリントレビュー
(1~4時間)

プロダクトの増加分を評価するため、動くソフトウェアのデモを実施します。新たな要求、指摘を整理し、**プロダクトバックログ**に反映します。

測定

- 仕様変更を含む開発規模を定量化し、合理的な見積もりや契約を実現します

制御

- マイルストーンを設定することにより、反復開発に安定した方向性を与えます

OGIS Scalable Agile Method
日本に適応したアジャイル開発のフレームワーク

技術

- アジャイルモデリング、テスト駆動開発などで開発スピードと品質を向上します

連携

- 顧客との連携、チームメンバー間の連携により高品質のソフトウェアを柔軟に開発します